

平成30年度 今治市障害者共同作業所 施設指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市障害者作業所
所在地	今治市菊間町長坂2001番地
指定管理者	<p>名称 特定非営利活動法人 作業所こまどり</p> <p>代表者 理事長 松田鈴美</p> <p>住所 今治市菊間町長坂2001番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL : 0898-36-1527</p> <p>E-mail : syougai Fukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	スタッフが少人数のため、目的や方針をしっかりと共有できている。	A	同じ職員が引き続いて施設を管理運営しているため、施設の設置目的や管理運営の基本方針を十分に理解しています。
利用状況	B	精神障害のある利用者・心身ともに不調な利用者が二人、病院や他の施設のサービスを受けるため、皆勤は無理な状態である。 残りの利用者はほぼ皆勤となっている。	B	利用者一人一人の状況に応じて細やかな対応ができておりますが、近年利用人数が固定化されております。利用者増には新規利用者が不可欠と考えます。
事業収支	A	自主事業による収入を得るとともに、支出が多い場合は保護者から寄付してもらおうなどして、事業運営を安定して行っている。	A	収支プラスで決算を迎えることができおり、自主事業の収入や保護者の理解による寄付金により、安定した経営ができております。
管理運営体制	B	管理運営業務を実施するための人員を配置できている。また、商品開発のための講習会にも積極的に参加している。	B	仕様書の基準に基づいて適正に人員配置ができております。また作業内容によって利用者が作業できない部分は職員がフォローしながら進めております。また商品開発のための研修に力を入れることで、利用者への指導内容の充実、新たな商品開発を経験させるなど、毎年できることを増やすような取り組みができております。
管理運営業務	A	清掃作業や日常点検など日頃より適切に行っている	B	仕様書に定められた基準に基づいて対応できておりますが、清掃管理業務については、施設内の清掃や製品や備品などの整理整頓について配慮が必要です。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用業務	B	HPを作っては、とのアドバイスを外部から受けることもあるが、人手不足が原因で十分対応できていない所が反省点である。	C	利用者の指導体制という点においては職員個人の能力に依存しているところがあり、将来の後継者への引き継ぎが心配な点があります。宣伝広告業務では、毎年開催される毛刈り大会は多数の参加者があり、各種市内イベントへの参加や展示販売も含めて広告宣伝活動ができておりますが、さらなる段階へとつながる新たな方策が必要と考えます。
その他業務	A	警報発令時には連絡や送迎を速やかに行い、利用者の安全確保に努めている。	B	各種マニュアルは整備されております。警報が出た場合の対応は迅速に適正に実施されており、利用者の安全に配慮できております。
修繕業務	A	備品は日々点検しており、修繕箇所を発見次第速やかに対応している。	B	施設が比較的新しいため施設本体の修繕は発生しておりません。備品については古いものが多くなり、修繕の必要性が高まっております。日頃の点検から早期発見、早期修繕をお願いします。
備品管理業務	A	備品は常に同じ場所へ戻すようにし、適切に管理をしている。	A	今年度は新たな備品購入はありませんでした。常日頃からの備品の状態管理は適切に行われております。
行政財産の目的外使用許可手続業務		対象外	-	該当ありません。
自主事業	A	羊の毛刈り大会や菊間夏祭り、清掃活動など地域と密着した独自の事業を展開できている。	A	今治市より受託している小ヶ丸広場公園の清掃により地域への社会貢献ができております。また恒例行事となっている毛刈り大会はメディアにも取り上げられ、多くの方が参加しております。また定期的に健康診断を実施して利用者の健康管理もできております。現在の事業を継続して地域や医療機関との一層の連携に努めてください。
地域団体との連携	A	小学校へ講義に出向いたり、生徒を受け入れたりとお互いの交流を積極的に行った。また、自主事業でも地域団体との交流が十分なされている。	A	地元小学校へ講習に行ったり、小学6年生や中学校支援学級生徒を受け入れるなど地元の小中学校と交流が盛んです。また地元の各種団体が主催する様々なイベントにも積極的に参加でき、地域団体との連携がしっかりとできています。
利用者アンケート	A	少人数でもあり、毎回同じような内容であるが、アンケート実施時にかかわらず普段から保護者との意見交換は十分にできていると思う。	B	利用者アンケート結果は概ね好評です。普段から利用者との意見交換ができ、即座に対応しているからだと思います。ただ毎年同じような質問内容になっているので、質問内容を再検討するよう努めてください。
事故・苦情	A	意見や苦情を述べやすいよう日頃から利用者の保護者と話し合う場を設け、話しやすい雰囲気づくりに努めた。	A	事故や苦情はなく事業を実施できております。今後も事故や苦情がないよう安心安全な事業実施に努めるため保護者やボランティアとの連携を図ってください。
指定管理者の経営状態			賃借対象表、正味財産増減計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

## 総合コメント(市)

平成23年度より、今治市地域活動支援センター運営事業補助金交付要綱による補助金を活用し運営されています。他の作業所では見られない独自の作業(羊の育成、羊毛、綿花の採取から製品加工、展示販売までの一連の流れ)を行うほか、藍染めや木工、織り、タオルの袋詰め、公園清掃を実施しています。また、自分たちからも地域へ羊の毛刈り大会を開催することで、情報発信しています。市外、県外から問い合わせや視察、情報交換など作業所や障がい者団体との交流が図られており、各所から注目される施設となっています。施設利用について、利用者が固定される状況が続いており、新規の利用者の獲得が課題となっています。また、利用者の安全のため、作業のしやすい環境整備のため、日頃からの清掃、整理整頓について配慮が必要です。